

株式会社オーケーエム

# 個人投資家向け IRセミナー資料

2023年2月18日

Webサイト：<https://www.okm-net.jp/>  
証券コード：6229



# 目次

---

01	会社概要	2
02	事業環境分析	18
03	事業戦略	25
04	中期経営計画方針	32
05	基本経営戦略とアクションプラン	37
06	サステナビリティ情報	44
07	Appendix	48

01

# 会社概要



- 滋賀県東近江市出身。1966年12月13日生まれ。  
青山学院大学大学院物理学専攻修了。横河電機を経て1997年にオーケーエム入社。  
2006年、取締役就任。生産統括本部長、国際統括本部長などを歴任。  
常務、副社長を経て2021年6月から現職。



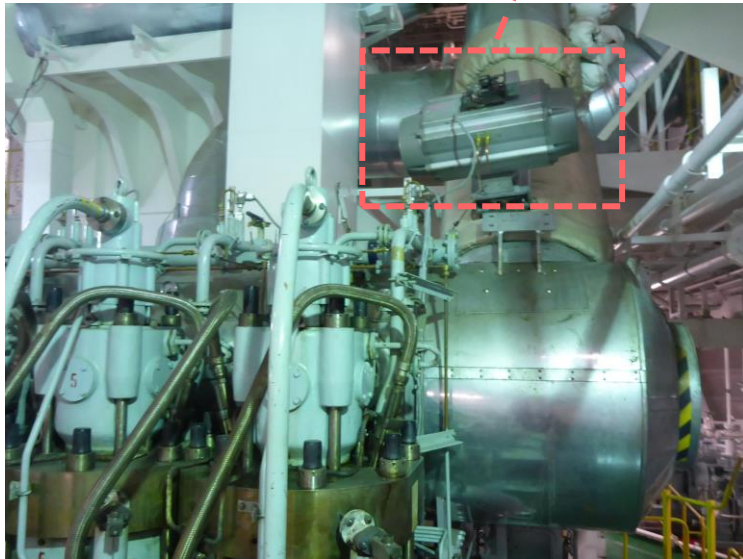
⇒ 長男の空手の相手をする様子  
10年以上前から長男の空手教室通いに付き合う形で  
空手を始めて、現在2段を保有





1959年(昭和34年) 広島ガス納品弁と写る奥村政信

## 1902年創業で 100年企業の 老舗バルブメーカー



## 船舶排ガス用バルブで 世界シェアNo.1

\* 2022年12月現在、当社調べ

\* 船舶エンジンに組み込まれた船舶排ガス用バルブ。  
上部の駆動部が見えている。



**カスタマイズに強みを  
持ち顧客の個別ニーズ  
に細かな対応**

# Purpose

存在意義

## いい流れをつくる。

目に見えるもの、見えないもの。

私たちは、あらゆる流体をつないでいる。

社会の課題を見つけ環境を考え、  
働きやすく暮らしやすい世の中へ導く。

私たちは信じている。

独創的な技術で、いい流れをつくる。

オーケーエムグループ



- 1973年(昭和48年)制定
- 近江商人の三方よし「売り手よし・買い手よし・世間よし」のエッセンスを含む

## 一 独創的な技術

オーケーエムは、他社に真似のできない製品・サービスを創り続けます。  
我々は、すべての仕事に「こだわり・工夫・改善」を積み重ね、強みを連携させて顧客・社会の発展に貢献します。

## 二 最高の品質最低の資源消費

オーケーエムは、顧客が感動できる製品・サービスを創り続けます。  
我々は、採算意識を持って、最高の仕事をすることで、無駄を最小に、利益を最大にします。

## 三 余裕ある生活と豊かな心

オーケーエムは、社員の物心両面の幸福の追求と、健康に活躍できる職場づくりをします。  
我々は、希望ある充実した生活を送り、仕事を通じて自己実現を果たし、誇りを持って働ける会社をつくります。

## 四 地域社会に貢献する

オーケーエムは、市民の一員であるという認識に立ち、持続可能な社会づくりに貢献し、地域にとって必要とされる会社となります。  
我々は、家族・社会の発展、幸せ増進の実現に向けて活動をします。

## ■バルブの開発・設計から製造、販売までワンストップサービスを提供する、 1902年(明治35年)創業のバルブメーカー



■ 会社名	株式会社オーケーエム (証券コード：6229)		
■ 設立	1962年(昭和37年)5月31日		
■ 代表者	代表取締役社長 奥村 晋一		
■ 資本金	1,178,196,655円(2022年3月末時点)		
■ 本社	〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅446-1		
■ 従業員	連結：326名 単体：233名 *2022年3月末時点、臨時従業員を除く		
■ 役員構成	代表取締役	社長執行役員	奥村 晋一
	取締役	会長執行役員	村井 米男
	取締役	上席執行役員	木田 清
	取締役	上席執行役員	福地 正晴
	取締役(監査等委員)		谷口 登
	取締役(監査等委員)		西村 猛
	取締役(監査等委員)		杉野 博昭

## 国内8拠点

本社・研究開発センター

日野工場

東近江工場

東京支店

大阪支店

名古屋営業所

広島営業所

福岡営業所

本社・研究開発センター



東近江工場



日野工場



東京支店

名古屋営業所

大阪支店

広島営業所

福岡営業所

## ■ 製造・販売拠点

### OKM VALVE(M)SDN. BHD.



※マレーシア スランゴール州

1990年設立

オーケーエムの外注生産先でもあり、マレーシアの水道分野やパーム油を中心とした工業分野、ベトナムの水道分野などの東南アジア地域を中心にバルブの製造・販売を展開

【主な生產品目】

- ・ゴムシートバタフライバルブ
- ・ハイパフォーマンスバタフライバルブ

### 奥村閥門（江蘇）有限公司



（工場は2021年1月竣工・操業開始） ※中国 江蘇省 常熟市

2019年設立 （2003年設立の蘇州法人より工場移転）

オーケーエムの外注生産先でもあり、中国の造船、半導体、食品、工業用ガス分野を中心に幅広い工業分野に対してバルブの製造・販売を展開

【主な生產品目】

- ・ゴムシートバタフライバルブ
- ・ハイパフォーマンスバタフライバルブ
- ・ナイフゲートバルブ

## ■ 販売・サポート拠点

### 韓国駐在事務所

韓国国内の船舶用エンジンメーカーへのサポートおよび事業拡大に向けたマーケティング活動を実施

### ホーチミン駐在事務所

ベトナム国内の水道分野・工業分野を中心にマーケティング活動を実施

- バルブは滋賀県最大の地場産業であり、彦根市を中心にバルブメーカーや関連メーカーが集積
- 彦根のバルブ業界の中で、当社は後発企業であったがゆえに**カスタマイズに特化**

## 第一の創業



奥村家で作られた木挽鋸

- ・1902年1月  
滋賀県蒲生郡蒲生町において  
鋸切製造所を創業
- ・1952年  
戦後に自動鋸が台頭し鋸事業撤退

## 第二の創業



2代目社長の奥村清一、独立間もない1枚

- ・1952年8月  
バルブコック専門工場に転換し、  
その製造販売を広める
- ・1962年5月  
株式会社奥村製作所を設立  
(現株式会社オーケーエム)

## 第三の創業



本社・研究開発センター

- ・2020年12月  
東京証券取引所市場第二部に  
株式を上場
- ・2022年5月  
新中期経営計画「Create200」  
「**脱炭素**」がテーマ

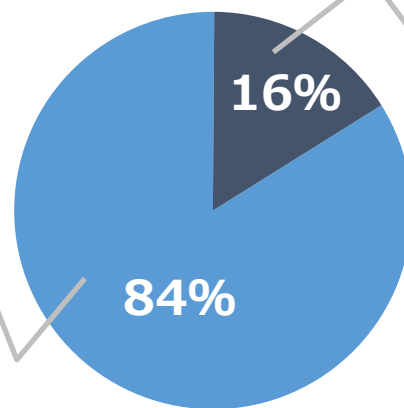
- コンパクトで汎用性の高いバタフライバルブを中心に、よりニッチなナイフゲートバルブとピンチバルブを提供
- 流体と制御の条件に合わせて最適なバルブを提案

## バタフライバルブ



- 弁体(輪っかの中の円板)を90度回転して開閉する。
  - 中間開度での流量調整機能にも優れ、幅をとらず、省スペースで設置可能。
- [電子制御バルブ]
- コンピュータからの信号によって弁体の開度を調整し、流体をコントロールする。

2022年3月期  
売上構成比



## ナイフゲートバルブ



- 鋭いエッジを有するプレートを出し入れで開閉する。
- 各種スラリー、粉粒体、固形物、パルプストック等、一般のバルブでは処理できない流体を止めることが可能。

## ピンチバルブ



- ゴムチューブを押し挟んで流路を開閉する。
- 固形物が混入しても完全遮断が可能。
- 長寿命でメンテナンス容易。

※ バルブ(弁)とは、主に配管などの内部を通す空気やガスなどの気体、水や油などの液体、あるいは粉体などの流体が通る空間の開閉や流体の制御および調節などができる可動機構をもつ機器の総称

# カスタマイズバルブの一例

## ■ 多様化する顧客の個別ニーズに対応するバルブの技術を保有

船の底の配管に設置(ロングネック)



地面の下の配管に設置(ロングネック)



船のタンクで緊急時に使用



半導体工場のクリーンな配管に設置



セメント船向けのピンチバルブ



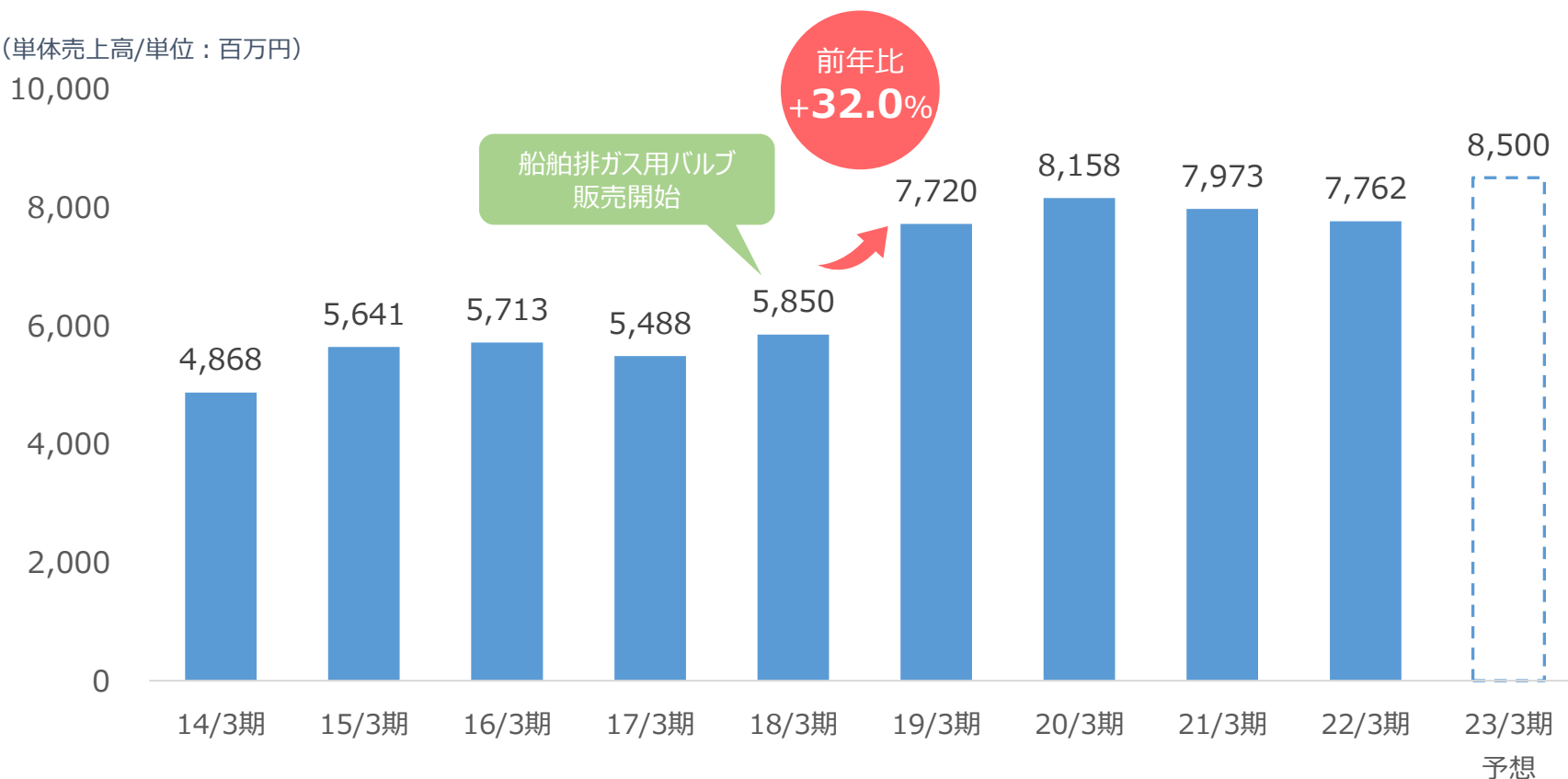
発電所向けに特別な駆動部を装着



# 売上高推移(単体)

- 幅広い業界向けに展開することで業績は底堅く、新分野が立ち上がった際に売上が一段上がる
- 2019年3月期には船舶排ガス用バルブの売上が急激に増加した

(単体売上高/単位：百万円)



※ 2015年3月期以前は監査法人の監査を受けておらず、参考値です。



# 四半期毎売上高・受注高・受注残構成(市場別・単体)

■ 受注残は継続して**過去最高を更新!**

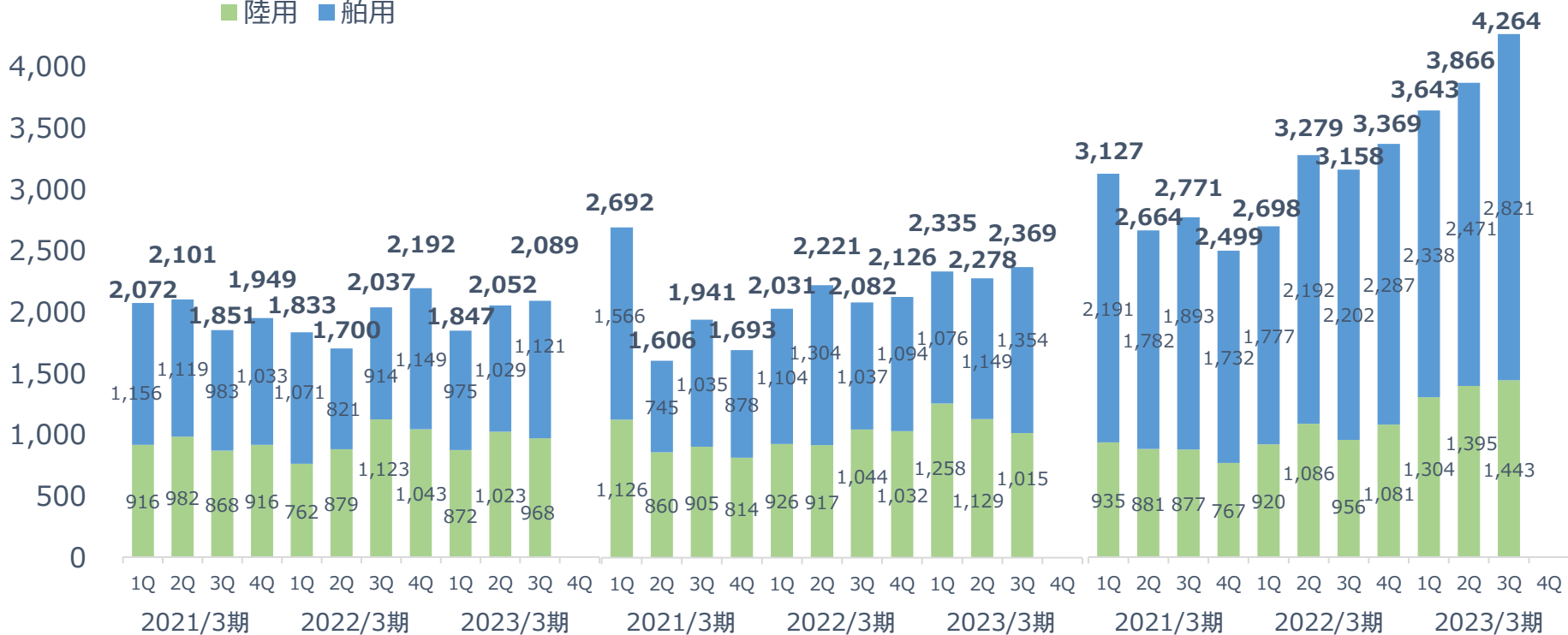
売上高

受注高

受注残

(単位：百万円)

■ 陸用 ■ 船用



# 2023年3月期 業績予想サマリー



(百万円、%)

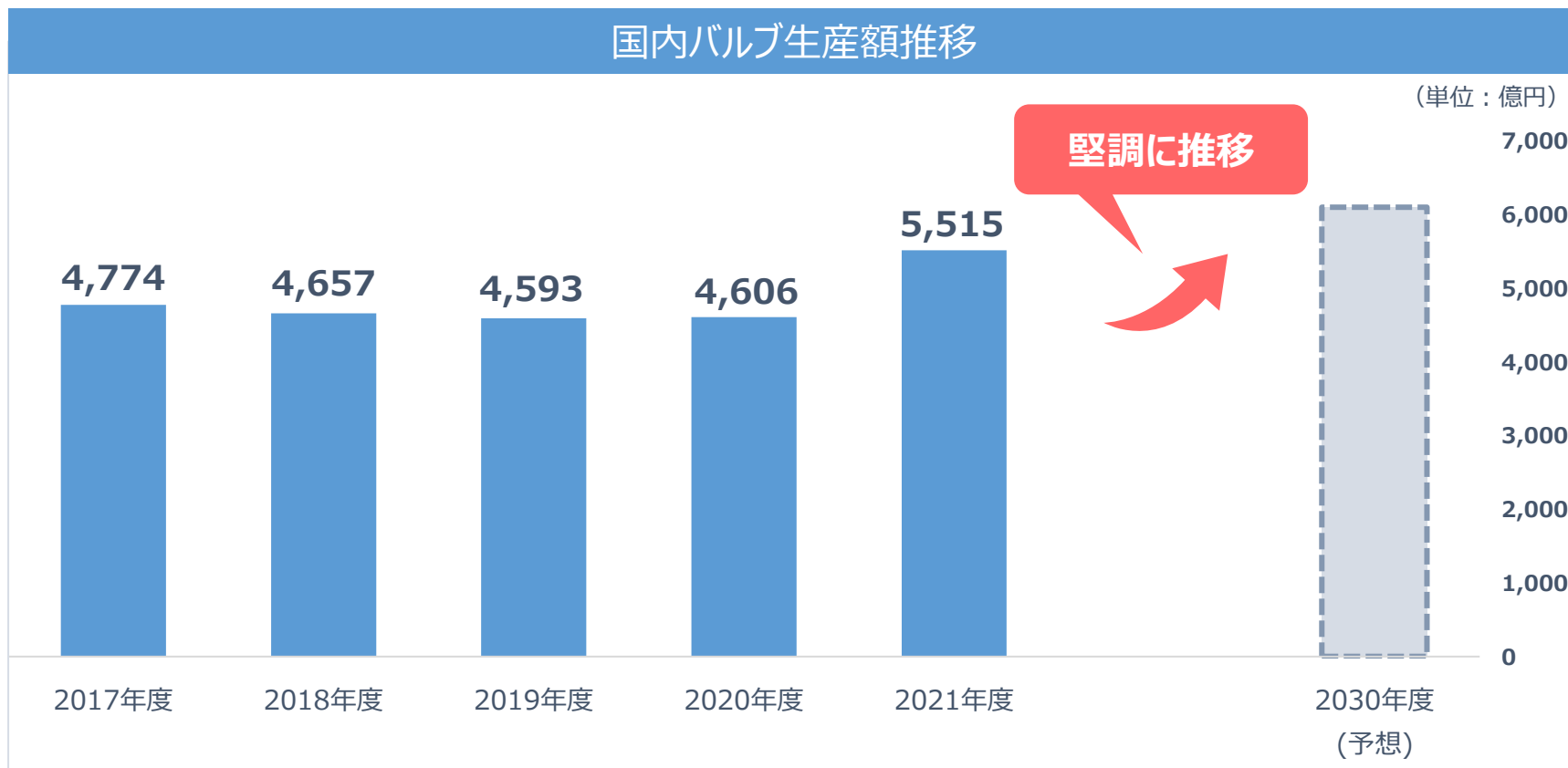
	2021/3期		2022/3期		2023/3期 業績予想(9/15修正)					備考
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	予想	売上比	前年同期比	期初予想	期初予想比	
売上高	8,759	▲1.0	8,456	▲3.5	9,500	100.0	12.3	9,500	0.0	(前年同期比) ✓ 陸用 +11.0% ✓ 船用 +13.7%
営業利益	1,009	13.0	662	▲34.4	820	8.6	23.7	630	30.2	✓ 売上原価 +15.4% ✓ 販管費 +2.4%
経常利益	1,025	20.8	724	▲29.3	885	9.3	11.7	635	39.4	✓ 営業利益増による増益
親会社株主に帰属する当期純利益	749	30.8	850	13.4	520	5.5	▲38.8	430	20.9	✓ 中国子会社の補助金収入等が今期は計上されないことによる減益
1株当たり配当金(円) (株式分割調整後)	40 (普通配当35円 記念配当5円)		45 (普通配当35円 記念配当10円)				35			✓ 配当金額は維持

02

# 事業環境分析



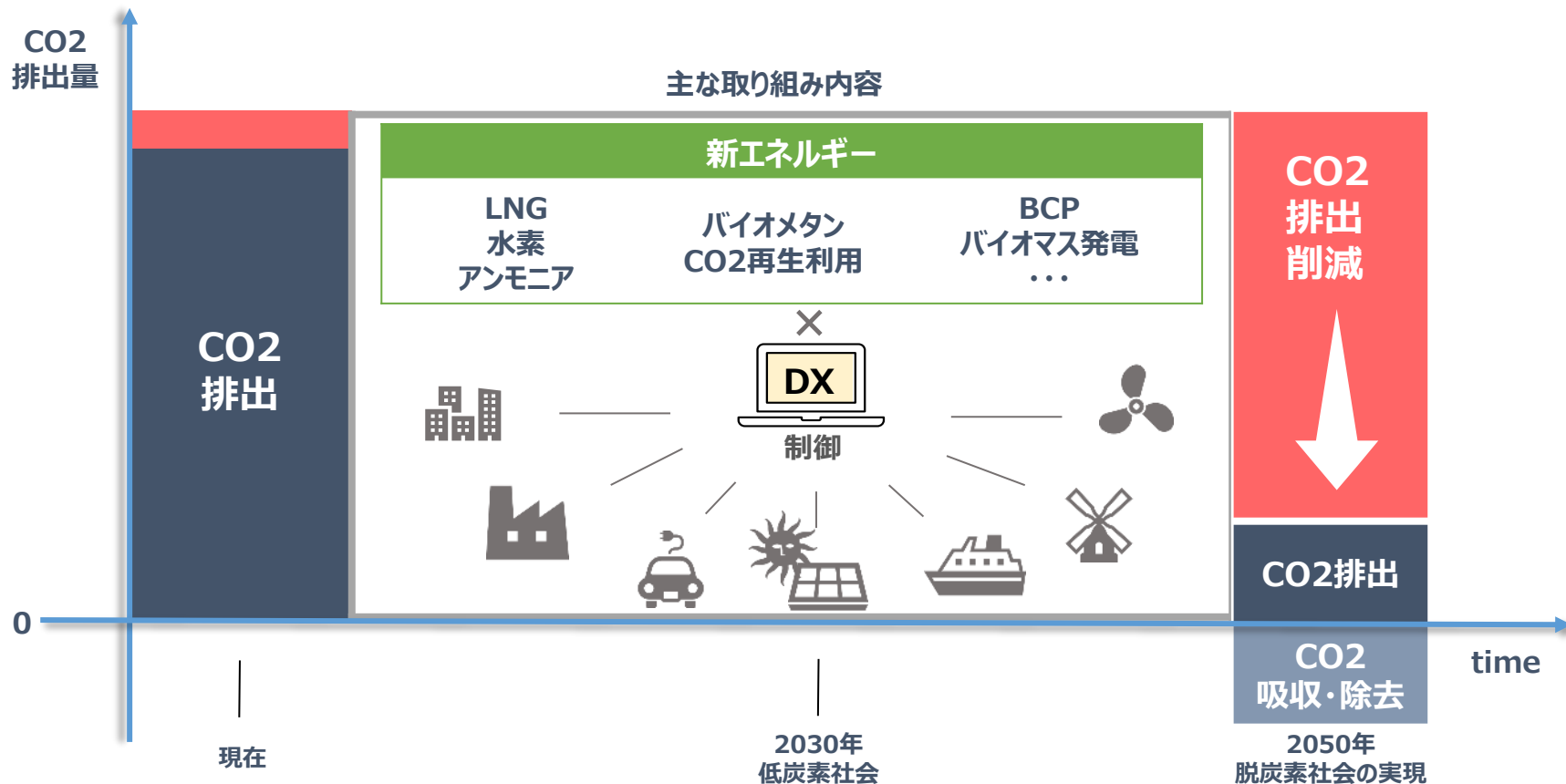
- 建築、発電、造船、各種プラント等、幅広い業界からの需要があり、今後も堅調に推移する見込み
- **脱炭素社会に向けた新エネルギーへのシフト、および環境規制、都市部の再開発、国内外の半導体工場の建設、新造船建造等に伴う需要が拡大する見込み**



※ 経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」より当社作成  
2030年度の予想値は、当社推計です。

# 脱炭素社会に向けた世界の動き

- 脱炭素社会に向けた新エネルギーへのシフトおよび環境規制に伴う需要が発生
- 省エネ実現のためにDX化が加速
- 顧客ニーズの多様化により、高付加価値カスタマイズバルブの開発が求められる

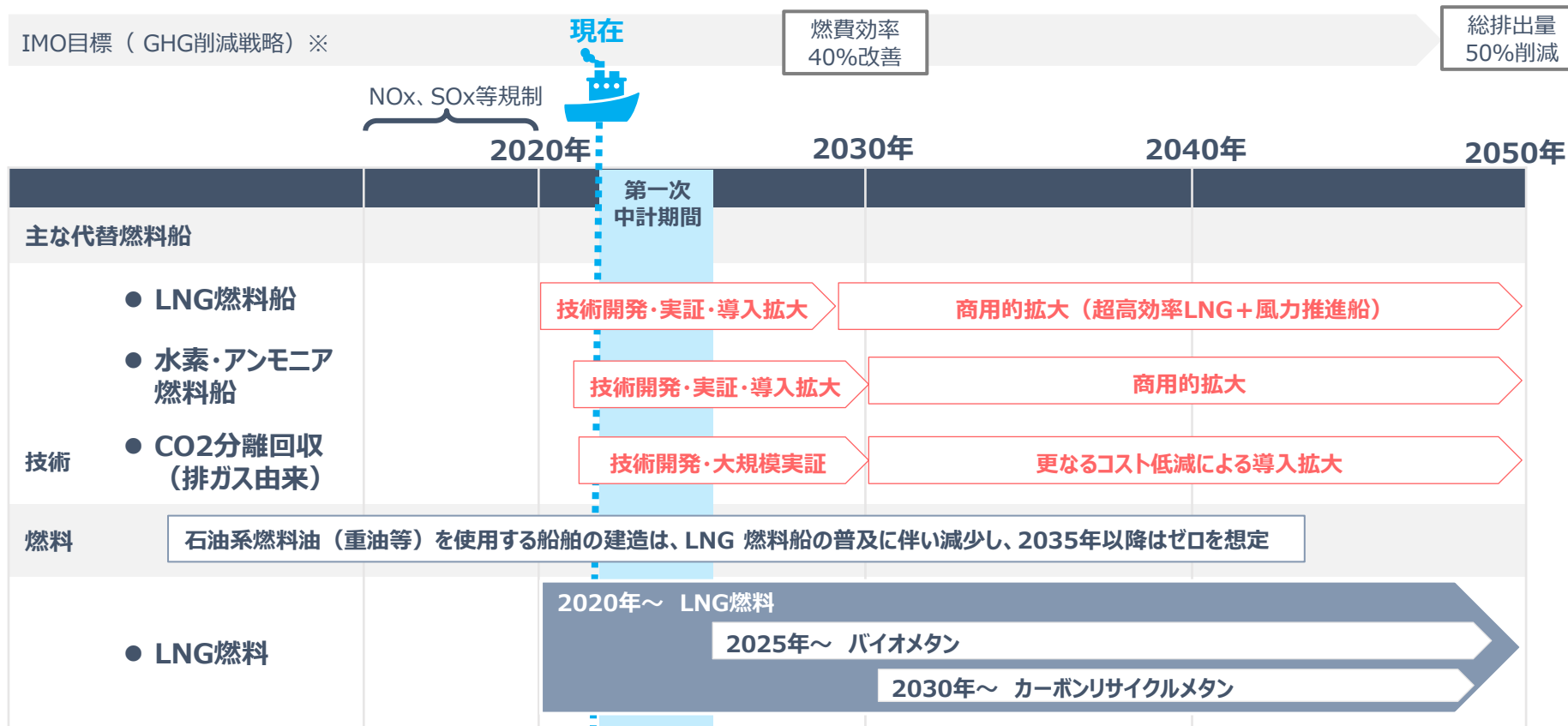


※ 経済産業省資源エネルギー庁 記事『2021年2月16日記事「カーボンニュートラル」って何ですか？（前編）～いつ、誰が実現するの？』をもとに当社作成  
[https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/carbon\\_neutral\\_01.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/carbon_neutral_01.html)



# 海運業界を取巻く主要な環境規制と造船ユーザーの動き

- 人の健康や環境を保全するため、船舶からの排気ガス中の大気汚染物質（NOx、SOx等）濃度の低減が求められる
- 船舶排気ガス対策が急務となったことから、2030年以降代替燃料の商業的拡大の見込み



※ 国際海運GHGゼロエミッションプロジェクト「国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップ」および内閣官房「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」をもとに当社作成

※ IMO(International Maritime Organization)とは、船舶の安全及び船舶からの海洋汚染の防止等、海事問題に関する国際協力を促進するための国連の専門機関

- 経産省により「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が策定され、企業の野心的な挑戦を後押しすべく、過去に例のない2兆円の「グリーンイノベーション(GI)基金」がNEDOに創設
- GI基金事業の一環として「**次世代船舶の開発**」プロジェクトが採択され、**総額320億円で水素やアンモニアを燃料とするエンジンの開発**など4テーマをNEDOが推進

研究開発項目	提案者	支援規模
水素燃料船の開発	川崎重工株式会社 ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 株式会社ジャパンエンジンコーポレーション	約210億円
アンモニア燃料船の開発①	日本郵船株式会社 日本シップヤード株式会社 株式会社ジャパンエンジンコーポレーション 株式会社IHI原動機	約84億円
アンモニア燃料船の開発②	伊藤忠商事株式会社 日本シップヤード株式会社 株式会社三井E&Sマシナリー 川崎汽船株式会社 NSユナイテッド海運株式会社	約20億円
LNG燃料船のメタンスリップ*対策 *燃料であるメタンの一部が未燃の状態で大気中に排気されることを指す	日立造船株式会社 ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 株式会社商船三井	約6億円

※ NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)とは、持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進を通じて、イノベーションを創出する国立研究開発法人  
 ※ NEDO 2021年10月26日発表『グリーンイノベーション基金事業、「次世代船舶の開発」に着手』をもとに当社作成



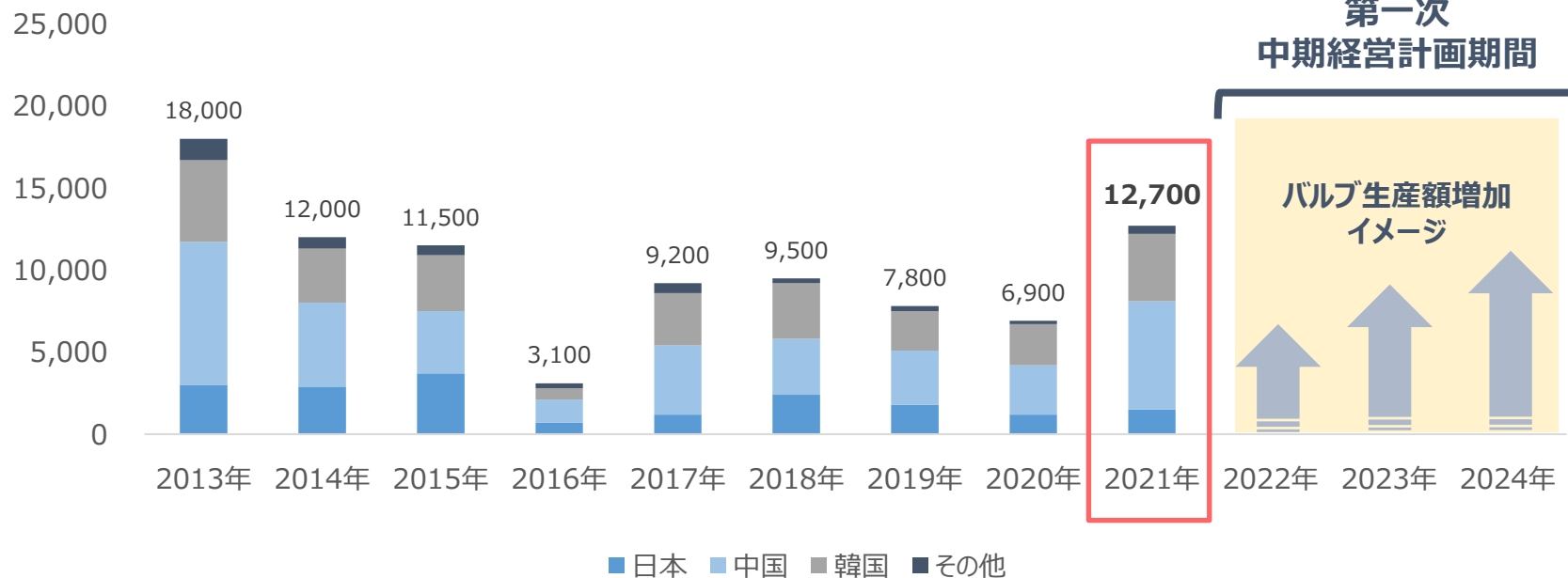
# 世界の新造船受注量の推移

- 2021年の新造船受注量増加に伴い、バルブ生産額増加の見込み
- さらには、新燃料船の増加により、新たなバルブ需要が見込まれる

※船用バルブは、新造船受注後1年半から2年程度で納入が開始される

## 世界の新造船受注量の推移

(単位：万総トン)






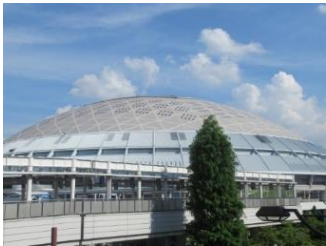


※ 日本船用工業会資料等より当社作成

03

# 事業戦略

## ■ 幅広い業界の大手優良顧客（納品先、最終需要先） 基盤を確立

造船・重機	半導体	食品・医薬	超高層・複合ビル
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今治造船・JMU</li> <li>・日立造船・三井E&amp;S造船</li> <li>・三菱重工業・川崎重工業</li> <li>・マキタ・ヤンマー 他</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キオクシア・東京エレクトロン</li> <li>・ソニー・ローム</li> <li>・京セラ・富士通 他</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アサヒビール・カルビー</li> <li>・キリンビール・キューピー</li> <li>・ブルボン・ハウス食品</li> <li>・永谷園・マルコメ 他</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常盤橋タワー（A棟）</li> <li>・あべのハルカス</li> <li>・横浜ランドマークタワー</li> <li>・六本木ヒルズ森タワー 他</li> </ul>
駅、空港施設	アミューズメント開発	海外	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪駅・東京駅</li> <li>・羽田空港・成田空港</li> <li>・関西国際空港 他</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ディズニーシー</li> <li>・ユニバーサルスタジオジャパン</li> <li>・ハウステンボス</li> <li>・ナゴヤドーム 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Hyundai Heavy Industries Co.,Ltd.（韓国/船舶エンジン）</li> <li>・Ajinomoto Co., (Thailand) Ltd.（タイ/食品）</li> <li>・Taganito HPAL Nickel Coporation（フィリピン/ニッケル鉱山）</li> <li>・上海中船三井造船柴油机有限公司（中国/船舶）</li> <li>・南京聯合鋼鉄（中国/PSA）</li> <li>・長江存儲科技有限責任公司（中国/半導体）</li> <li>・Syarikat Air Terengganu Sdn bhd (SATU)（マレーシア/水道公社）</li> <li>・Hanoi Water Works（ベトナム/水道公社）</li> <li>・FGV Holdings Berhad（マレーシア/パーム油）</li> </ul>	

（川順不同）

- 自社が主体となった製品開発の推進
- 各種実験プラントを自社で所有してバルブ特性や流量特性などの実験を行い、データを収集、解析
- 顧客の仕様に合わせた様々な試験が可能であるとともに、データ、ノウハウを自社内に蓄積してさらなる新製品開発に活用

## 高温流体試験



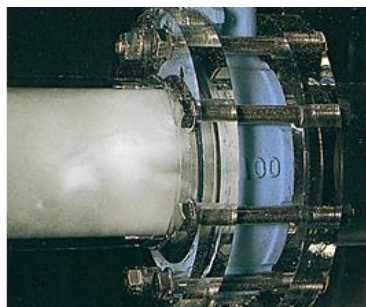
実際に製品が使用される温度環境を再現する試験で、電気ヒーターにて**最高700度**の熱風を発生させ高温状態でバルブの性能や特性を評価する

## ファイヤーセーフ試験



消火設備や可燃性流体を通す配管での使用を想定し、火災等で焼損した状態でも一定の性能が維持できているかどうかの性能を評価する

## キャビテーション試験



配管浸食・騒音・振動の原因となるキャビテーション（液体の流れの中で圧力差により短時間に泡の発生と消滅が起きる物理現象）発生時のバルブの性能や特性を評価する

## 低温流体試験



実際に製品が使用される温度環境を再現する試験で、液体窒素を投入して**マイナス196度**の低温状態でバルブの性能や特性を評価する

# オーケーエムの強み ③

- 幅広い取扱製品と耐熱温度範囲で、顧客のニーズに細やかに対応
- 耐熱温度範囲は「**-196℃～700℃**」

## 当社がカスタマイズするバルブ

型式	×	サイズ	×	部品	×	材質	×	制御方法	=	10万種類以上
<ul style="list-style-type: none"><li>バタフライバルブ</li><li>ナイフゲートバルブ</li><li>ピンチバルブ</li><li>チェッキバルブ</li></ul> など		内径サイズ (最小25mm～ 最大3,000mm)		<ul style="list-style-type: none"><li>本体</li><li>弁体</li><li>シートリング</li><li>上部弁棒</li><li>ガスケット</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>ダクタイル鋳鉄</li><li>鋳鋼</li><li>ステンレス</li><li>樹脂</li><li>ゴム</li></ul> など		<ul style="list-style-type: none"><li>レバー式</li><li>ギヤ式</li><li>シリンダ式</li><li>電動式</li></ul>		

### <様々な用途に用いられるバルブの例>



化学薬品・石油オイル関係・  
高圧蒸気・高圧流体用  
ハイパフォーマンスバタフライバルブ

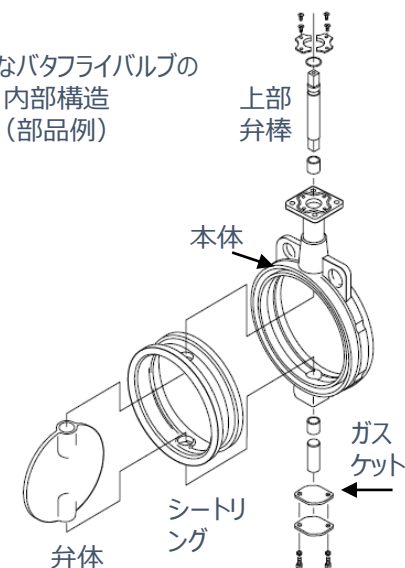


製紙・石油化学・化学・食品・鉱山・  
下水処理・高濃度・高粘度流体用  
ナイフゲートバルブ







ヘドロ・鉱石スラリー・セメント・粉体・バルブ・  
下水汚泥等用  
ピンチバルブ

一般的なバタフライバルブの  
内部構造  
(部品例)



# 高付加価値バルブ拡販のこれまでの成功事例

## 【競争優位性を発揮した実績】

時期	ターゲット分野	成功要因	
1955年頃～	製紙業界	製紙用バルブとして特許を受けたナイフゲートバルブを販売。従来品の問題を解決したことで、 <b>製紙業界でオーケーエムの名前を知らない会社はない</b> と言われる程に。また、ナイフゲートバルブとセットでバタフライバルブを販売することで業容を拡大した。	
1980年代～	建築空調設備	ビルの高層化と同時にDHC（地域冷暖房）方式が広がることを見越し、 <b>国内ビル空調システムで90%以上のシェアを誇るアズビル（当時、山武ハネウエル）と技術提携</b> し販路拡大。	
2000年頃～	造船（機関室）	瀬戸内、九州地方での需要拡大を見越し、西部営業部による一斉アプローチの結果、今では <b>日本主要造船所の70%以上への納入実績</b> を誇る。今治造船との標準搭載契約より受注拡大。	
2013年～	船舶排ガス用	国際的な船舶排出ガスの環境規制強化の流れを受け、 <b>世界No.1の船用エンジンデザインメーカーのMANと規制対応バルブを共同開発</b> した。MANデザインに当社の技術を融合させることでメインサプライヤーとしての地位を確立した。	

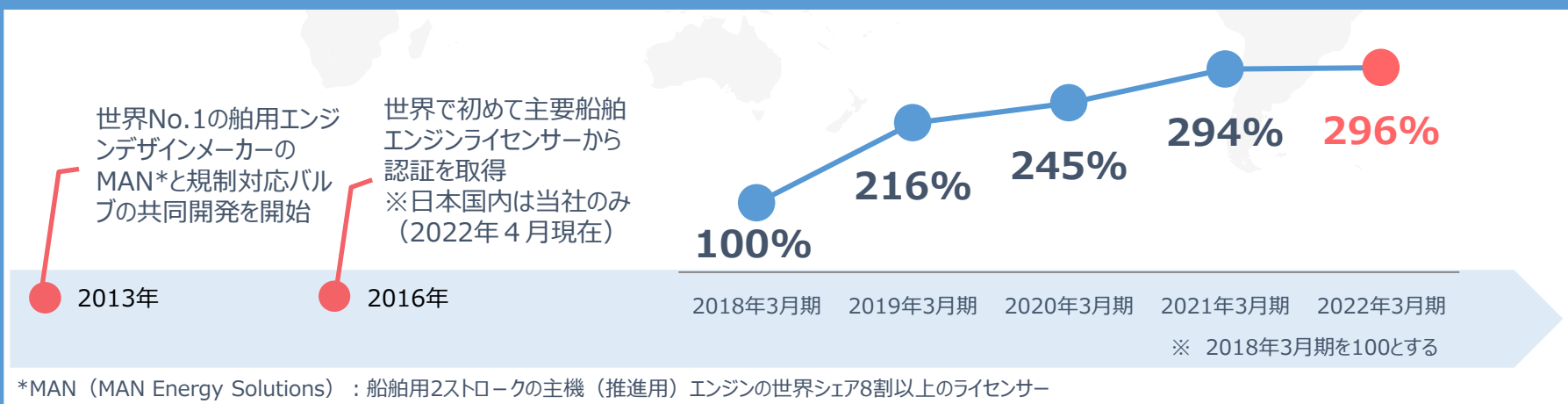
顧客からは競合他社と比べて対応力（特に納期）があるとの評価をいただく。顧客の技術部門と共同でカスタマイズ製品を開発することで、その顧客の新設備導入や入れ替え、交換需要を当社指定で取り込む。

- 船舶排ガス用バルブを扱う主なエンジンメーカーは日本・中国・韓国の3か国
- 世界シェアは約50%、日本シェア90%超
- 世界の環境規制対応船の建造増加に伴い売上が拡大中

## 船舶排ガス用バルブ 世界シェア約50%

\* 2022年12月現在、当社調べ

### 当社の船舶排ガス用バルブ開発に向けた動きと売上高伸び率



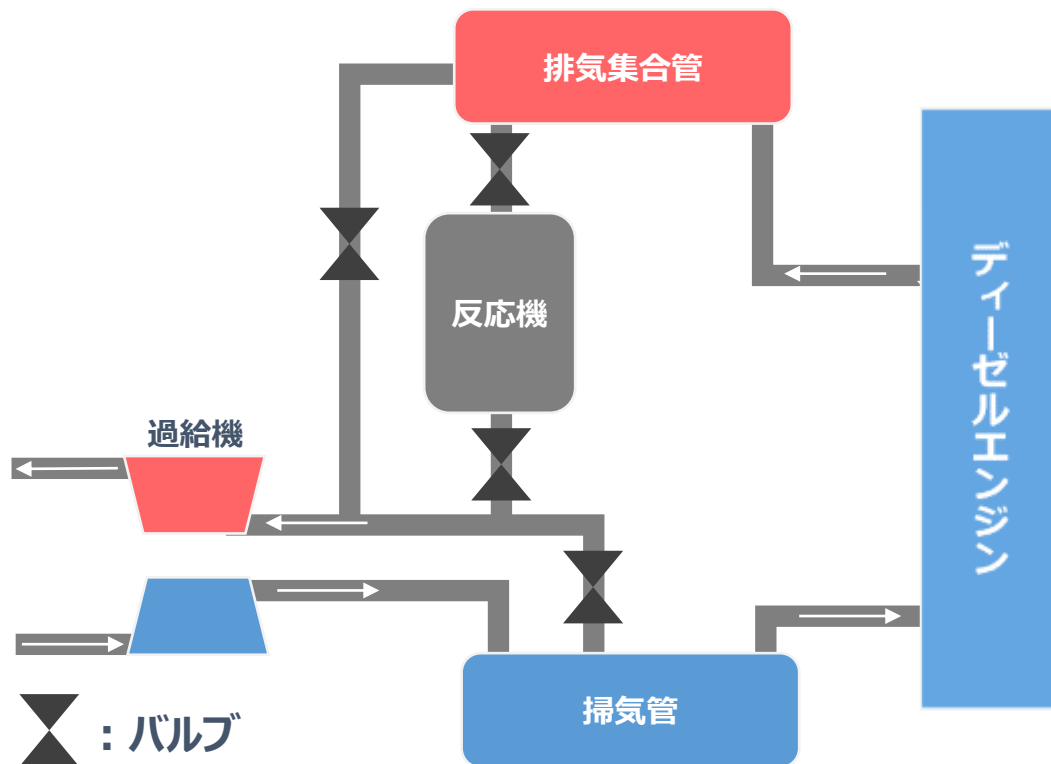
# 環境規制強化により需要が急増

- 規制強化により船舶エンジンに排気ガス浄化装置の追加が必要となり、船舶排ガス用バルブ需要が拡大見込み
- 1つのSCR装置に当社のバルブが**3~4個**使用される
- 大きいものでは、**口径1,000mm**程度

SCR装置（脱硝装置）システム系統図



高さ2.3m、重さ1.2tの船舶排ガス用バルブ





# 04

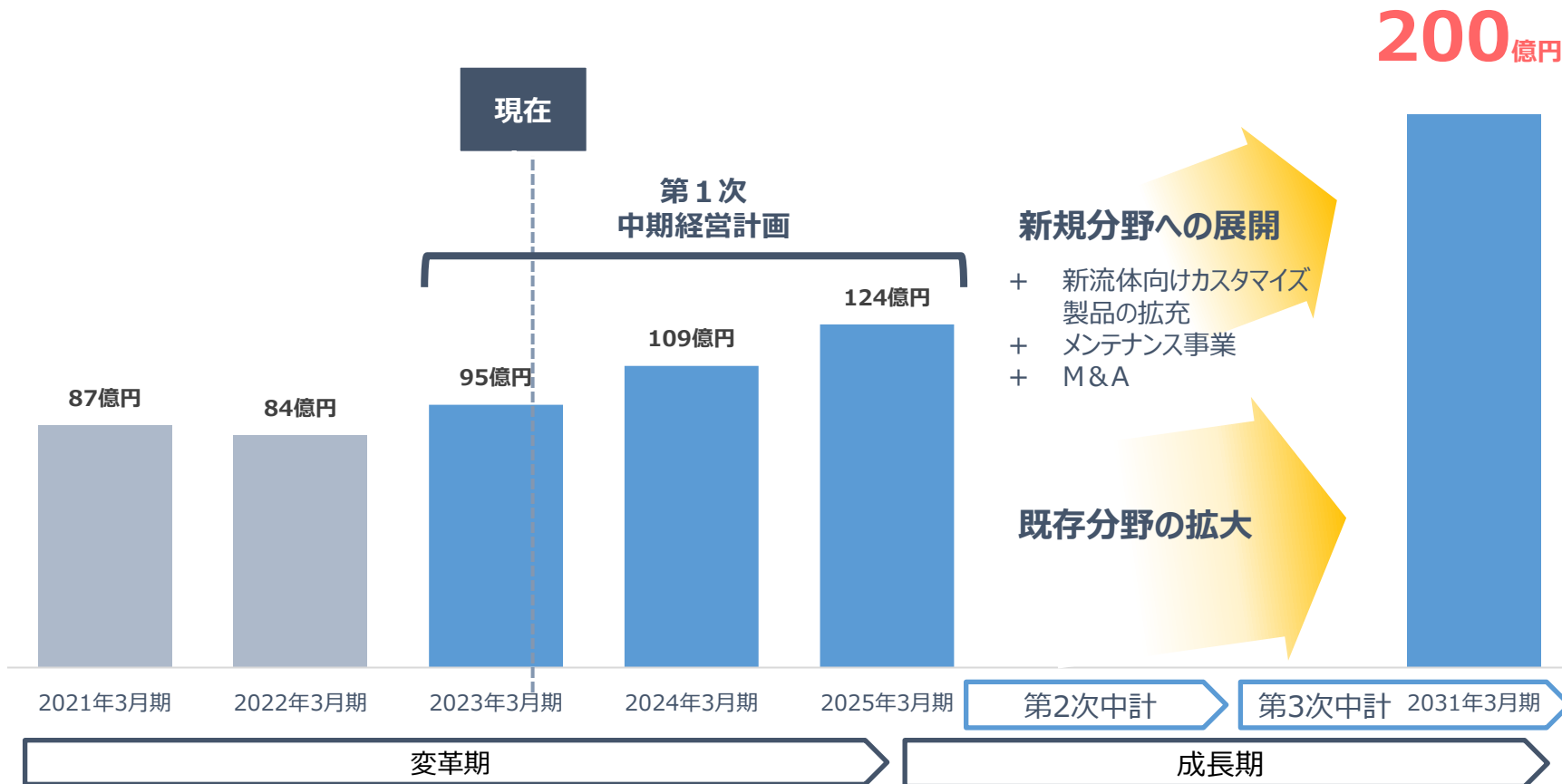
## 中期経営計画方針



**脱炭素化に向けた**  
**クリーンエネルギー市場を含む**  
**成長市場に対応できる**  
**新商品開発と販売体制を確立する**

## 売上高推移イメージ

### 中長期ビジョン「Create 200」



※ 2018/3期以前が単体業績、2019/3期以降は連結業績です。

中期経営計画最終年度  
連結売上高

**124億円**

中期経営計画最終年度  
営業利益率

**8%以上**

配当性向

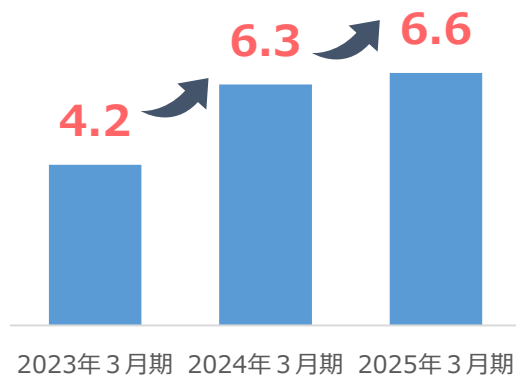
**30%**

(単位:百万円)

KPI	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
連結売上高	9,500	10,900	12,400
売上高CAGR	12.3%	14.7%	13.8%
営業利益	630	790	1,070
営業利益率	6.6%	7.2%	8.6%
ROE	4.8%	5.7%	7.2%
配当性向	30%を目途とする		

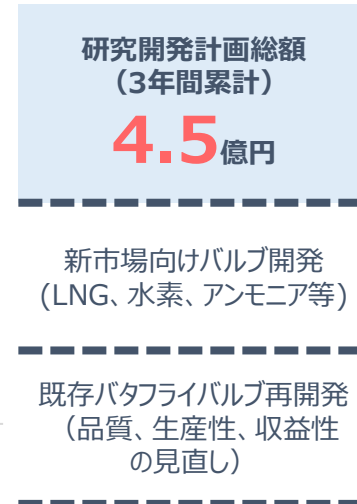
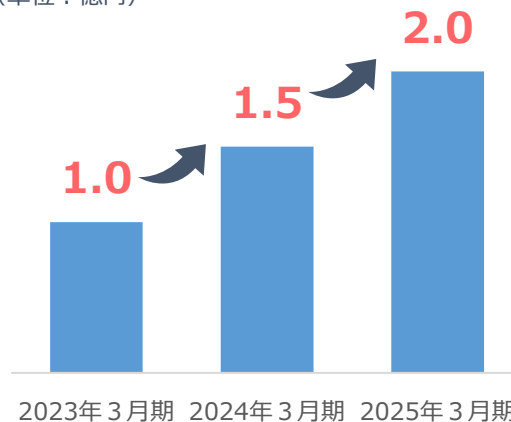
## 設備投資計画

(単位：億円)



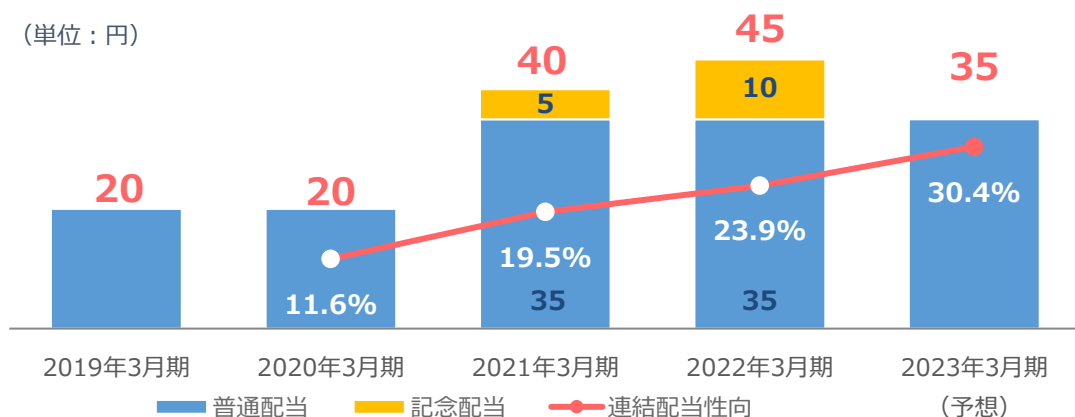
## 研究開発投資計画

(単位：億円)



## 株主還元方針

(単位：円)



- 業績動向に加えて、新技術・新製品の研究開発投資や設備投資等の様々な資金ニーズに対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意して株主還元を実施する
- 連結配当性向として概ね**30%**を目途とする

# 05

## 基本経営戦略と アクションプラン

---

**戦略Ⅰ**      成長市場に対応できる新商品開発と販売体制を確立する

---

**戦略Ⅱ**      既存の商品力を強化する

---

**戦略Ⅲ**      企業風土を変革し、サステナブルに成長・発展する

---

**戦略Ⅳ**      社員満足度を向上させる

---

### 施策① 脱炭素社会向け製品の研究開発



- 液化水素用大口径バタフライバルブの研究開発  
→ 陸用・船用に係る市場動向調査
- アンモニア用バルブ、CO2用バルブの製品開発  
→ 顧客との共同開発を推進
- 産官学連携により、「脱炭素化」を見据えた事業領域を拡大するための施策を展開  
→ マーケティング領域を「バルブ」から「流体制御に係る機器・システム」に拡大  
→ 工場・ビル・プラント等陸上設備の環境負荷低減や環境規制に係るマーケティングを強化



### 目標

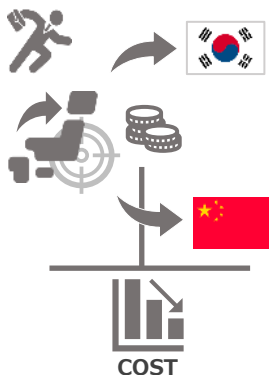
開発完了



New product

- アンモニア用バルブ
- CO2用バルブ

### 施策② 低炭素社会向け製品の販売展開



- 国内市場の販売拡大に向けた営業活動の推進
- LNG用バルブの海外市場参入に向けたラインアップの拡充  
→ 韓国・中国のニーズに合った製品開発
- LNG用バルブのコスト低減を推進



- LNG燃料船へ導入



×

20

隻



### 施策③ 船舶排ガス用バルブ製造・販売の強化



Improvement



After-sales support



- 継続的な製品の改良、改善  
→ モデルチェンジ製品「ExVMARK II」の上市



- 最適地生産、最適地販売

### 施策④ 新たな販売体制の構築



Needs



Customer

- 深堀型技術営業体制の構築
- デジタルマーケティングの推進
- 顧客情報の全社一元化、共有により販売効率を向上
- 提案型のメンテナンスサービス体制の構築  
→ 船舶排ガス用バルブやLNG用バルブ、陸用市場への拡大を企図

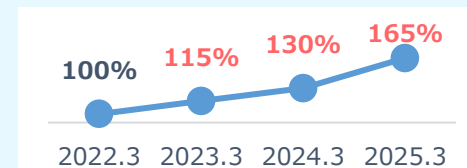
#### 目標



世界シェア

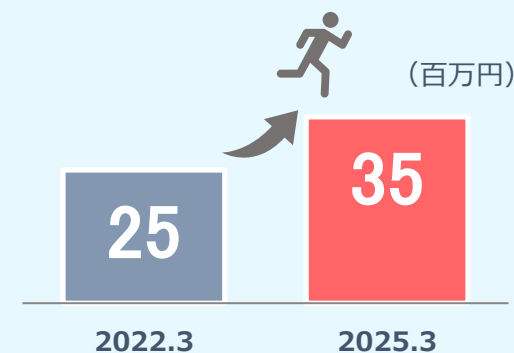
第1位 維持

- 売上高伸び率



※ 2022.3の売上高を100とする

- 一人当たり売上高の向上

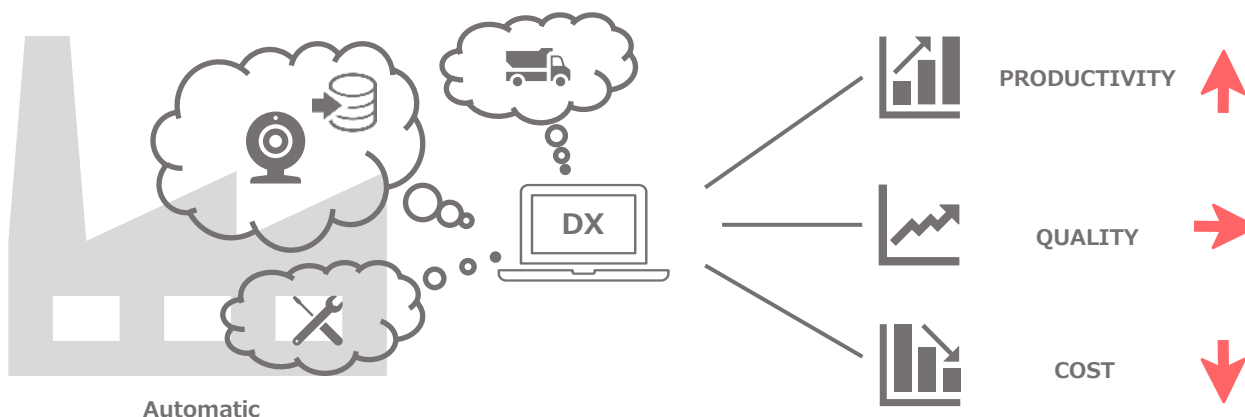


### 施策 生産体制の変革

- 蓄積した流体制御とシール技術を活かしたカスタマイズ製品の開発



- 生産業務のDX化を推し進め、生産性の向上、品質の安定化、コスト競争力を強化
- 加工、組立、塗装、検査、物流工程の自動化・省力化・無人化の実現



### 施策① ガバナンスの向上

- グループ経営の最適化
- 情報発信の拡充
- コンプライアンスの徹底、リスク管理体制の強化



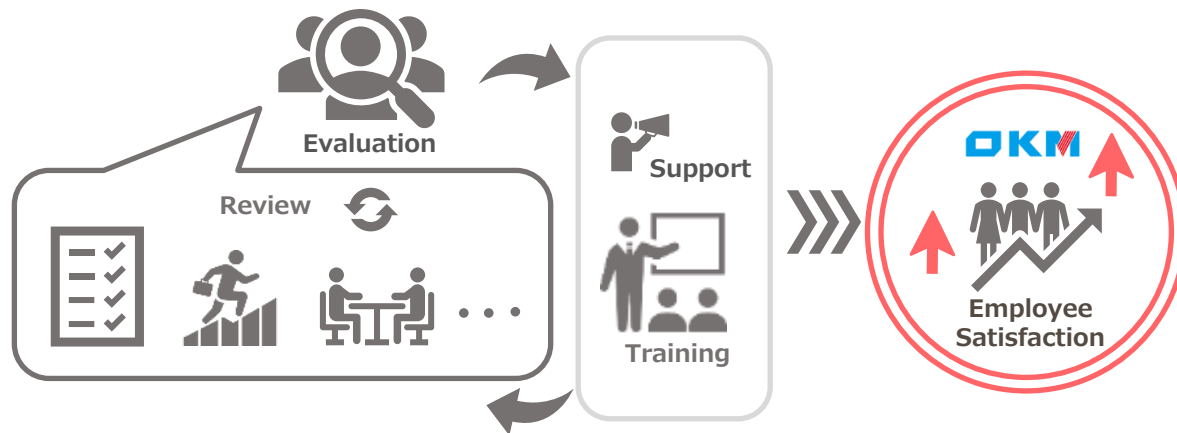
### 施策② サステナビリティをめぐる課題への取り組み推進

- サステナビリティに関する3つの重点目標について各プロジェクトで展開
  - ① 地球環境保全への取り組み
  - ② グローバル社会への貢献
  - ③ 社員満足度の向上
- 多様な人材が多様な働き方で安心して働けるよう職場環境の改善を推進



### 施策① 人材育成の加速化

- 社員教育制度の充実化
- 人事考課制度の見直し



### 施策② ワーク・ライフ・バランスの推進

- 「働き方改革」に則した就業環境づくりへの取り組み
- 風通しのよい職場づくり、失敗を恐れない風土づくり
- 福利厚生充実化



06

# サステナビリティ情報



■オーケーエムは、国連が採択した、SDGsの趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現のため事業活動を通じ、地球環境の保全と世界の持続的な発展に貢献することを宣言します

## 重点取組目標

地球環境保全  
への取り組み

グローバル社会  
への貢献

社員満足度  
の向上

## 主な取り組み状況

排ガスバルブ、バラスト水処理用バルブの製造、販売	ASEAN地域での水道用バルブの製造、販売	水処理設備用バルブ、雨水用バルブの製造、販売	国や団体からの各種認定取得	工場照明にLEDを一部採用	SDGs私募債の導入、図書館への図書寄贈
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくらう</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> 	<p>1 貧困をなくそう</p>  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくらう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 

## ■ 多様な人材が多様な働き方で安心して働けるよう職場環境の改善を推進

国			滋賀県			
経済産業省および中小企業庁		厚生労働省				
2020年版 グローバルニッチ トップ企業100選	地域未来牽引企業   地域未来牽引企業	はばたく中小企業・ 小規模事業300社  	くるみん認定  	女性活躍推進企業  	ワーク・ライフ・バランス 推進登録企業  	イクボス宣言  

## 実施・継続

## 今後

# E

Environment  
(環境)

### ■ 脱炭素社会に向けた取り組み

- 環境規制に対応する製品販売
- LNG燃料運行船舶向けの製品販売
- 太陽光発電システム、LED照明、電動フォークリフト、電気自動車の導入

### ■ 脱炭素社会に向けた取り組み

- 水素・アンモニア等クリーンエネルギーへの対応
- 太陽光システムの導入拡大
- 再生可能エネルギーの調達推進
- ペーパーレス化推進

# S

Social  
(社会)

### ■ 世界のインフラ整備や環境保全に貢献する製品販売

- 安全な水の供給支援
- バラスト水処理による海洋生態系保全の推進

### ■ 社員教育の充実と社員が誇りを持てる会社づくり

### ■ 地域社会への貢献

- 滋賀県の「サステナビリティ・リング・ボンド」への協賛
- 子どもたちの育成支援

### ■ 職場環境の整備・ダイバーシティ経営推進

- IT環境整備、DX推進
- やりがい・働きがいを育む風土醸成  
→ 創業120周年に合わせ制服刷新  
⇒ 多様性尊重、エンゲージメント向上
- 性別、国籍、人種を問わない活躍の場の提供  
→ 新卒/中途入社・性別などにこだわらず、優秀な人材を積極登用

# G

Governance  
(ガバナンス)

### ■ 実効性の高いガバナンスの実践

- 多様な経歴・スキルを持つ独立社外取締役の登用
- 取締役会の活性化、迅速かつ的確な意思決定

### ■ 投資家との建設的な対話 (IRの充実)

### ■ 譲渡制限付株式等の株式報酬制度導入を検討



07

# Appendix

(単位：百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
売上高	8,646	8,852	8,759	8,456
前年比	—	2.4%	▲1.0%	▲3.5
売上総利益	3,657	3,369	3,482	3,075
前年比	—	▲7.9%	3.4%	▲11.7
売上総利益率	42.3%	38.1%	39.7%	36.4%
販管費	2,318	2,475	2,472	2,413
前年比	—	6.8%	▲0.1%	▲2.4%
販管費率	26.8%	28.0%	28.2%	28.5%
営業利益	1,338	892	1,009	662
前年比	—	▲33.3%	13.0%	▲34.4%
営業利益率	15.5%	10.1%	11.5%	7.8%
経常利益	1,335	849	1,025	724
前年比	—	▲36.4%	20.8%	▲29.3%
経常利益率	15.4%	9.6%	11.7%	8.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	891	573	749	850
前年比	—	▲35.7%	30.8%	13.4%
当期純利益率	10.3%	6.5%	8.6%	10.1%
ROE	17.3%	10.1%	11.2%	10.5%

<主な項目> (単位：百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
資産合計	10,884	10,318	12,006	12,365
流動資産	7,692	6,513	7,252	7,925
現預金	2,148	2,015	3,071	3,480
固定資産	3,192	3,804	4,754	4,440
有形固定資産	2,779	3,222	4,220	4,022
無形固定資産	111	257	242	190
投資その他の資産	303	323	291	227

負債合計	5,724	4,667	4,324	3,845
流動負債	3,433	2,272	2,099	2,166
固定負債	2,291	2,395	2,225	1,678
純資産合計	5,161	5,650	7,681	8,520
自己資本比率	47.4%	54.8%	64.0%	68.9%

- 1962年5月に株式会社奥村製作所を設立
- 1993年4月に株式会社オーケーエムに社名変更
- 奥村の英語表記「OKUMURA」が由来



✓Mの中の5本線には「5つのMをOKにする」という意味が込められています。

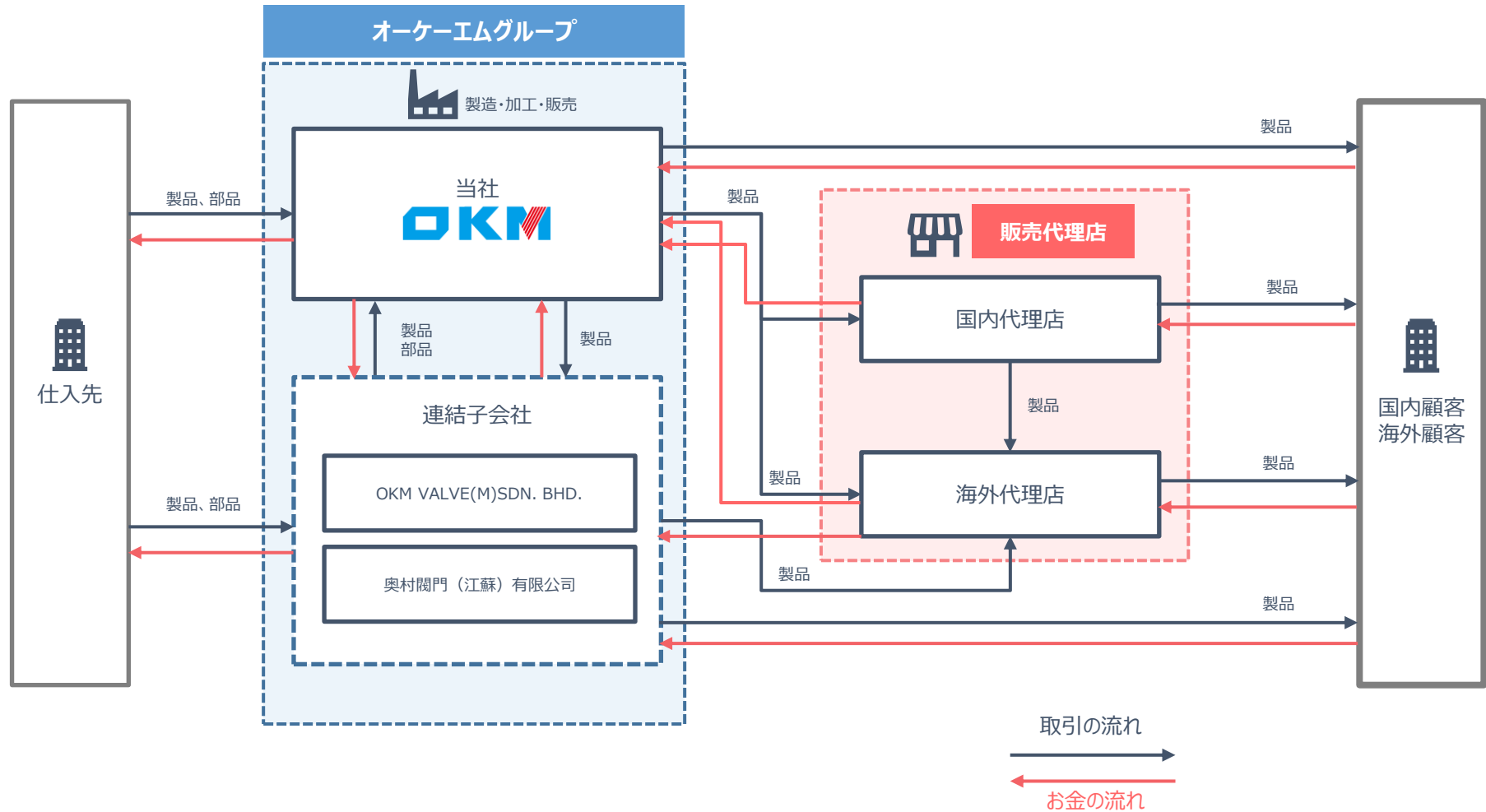
**M**ORALE (旺盛な士気) ・ **M**ARK (高い目標) ・ **M**ECHANICS (優れたテクノロジー) ・  
**M**ARKET (的確な市場ニーズの把握) ・ **M**ANAGEMENT (行き届いたマネジメント)

- 1902年 1月 滋賀県蒲生郡蒲生町において鋸切製造所を創業
- 1952年 8月 バルブコック専門工場に転換し、その製造販売を広める
- 1962年 5月 バルブ及び鉄工品の製造販売を行う事を目的として滋賀県蒲生郡蒲生町に当社(株式会社奥村製作所)を設立
- 1962年 8月 東京営業所を開設、営業販売に力を入れる
- 1969年 6月 滋賀県蒲生郡日野町に本社・工場（第一工場）を竣工移転
- 1990年 10月 バルブの製造販売を目的としてマレーシア国スランゴール州にOKM VALVE(M)SDN. BHD.（現・連結子会社）を設立
- 1993年 4月 当社社名を株式会社オーケーエムに変更
- 1997年 10月 本社にてISO9001認証取得
- 2003年 2月 バルブの製造を目的として中国蘇州市に蘇州奥村閥門有限公司（現・連結子会社）を設立
- 2010年 11月 日本海事協会（NK）事業所承認を取得
- 2017年 12月 経済産業省より、「地域未来牽引企業」に選定される
- 2018年 8月 本社にてISO27001認証取得
- 2019年 3月 蘇州奥村閥門有限公司の工場機能移転を目的として中国常熟市に奥村閥門(江蘇)有限公司を設立
- 2019年 4月 滋賀県東近江市に船舶排ガス用バルブの製造を目的として滋賀東近江工場を竣工
- 2019年 12月 韓国で拡大する造船需要に対応するため韓国駐在事務所を開設
- 2020年 6月 経済産業省より「2020年度版グローバルニッチトップ企業100選」に選定される
- 2020年 10月 滋賀県野洲市に研究開発の強化を目的として研究開発センターを竣工
- 2020年 12月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2021年 2月 滋賀県野洲市に本社を移転
- 2021年 6月 経済産業省のサポイン事業に「液化水素用大口径バタフライバルブの研究開発」が採択される
- 2022年 4月 東京証券取引所の株式市場再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場に移行



# オーケーエムグループの商流

- 主には当社グループから販売代理店を通じて国内外の顧客へ製品を提供
- 共同開発や仕様の打合せなどは顧客（納品先、最終需要先）と直接行っている



## ■バルブの歴史は古く、時代のニーズに合わせて姿・形を変えてきた

### バルブの機能



- バルブは流体を「流す」「止める」「絞る(調節する)」ための機器
- 工場やビル、車、船、宇宙ロケットなどの中で使用される
- 流体は水や空気だけでなく、高温、低温、高圧、酸性、油など様々

### 身近なバルブ



- 一番身近なバルブは水道の蛇口
- 水を「出したり」「止めたり」、水量を「調節したり」することができる

### バルブの起源



- 起源は紀元前1000年頃の古代エジプトの遺跡から発見されたコックと推定される木製のものまで遡る
- 古代ローマ時代(紀元40年頃)の軍用船とともに引き揚げられた青銅製のコック

※ (一社)日本バルブ工業会『バルブなに?』をもとに当社作成  
<https://j-valve.or.jp/valve/basic/>

■私たちの身近なところでバルブが活躍。見えないところで社会と暮らしを支える

街中にはバルブがいっぱい

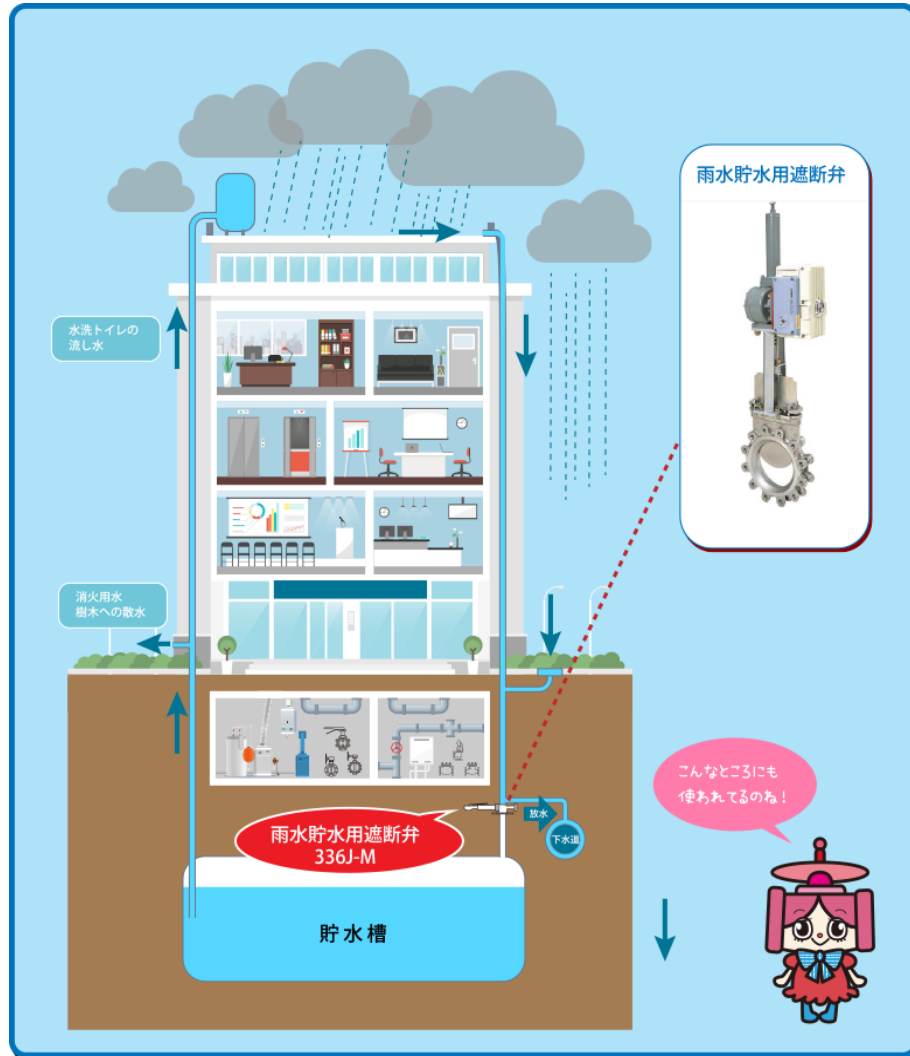


超高層ビル「あべのハルカス」では、すべての空調設備に当社のバルブが使用されています





■空調設備、半導体、石油、化学、鉄鋼、電力、水道、食品など多様な流体配管に使用

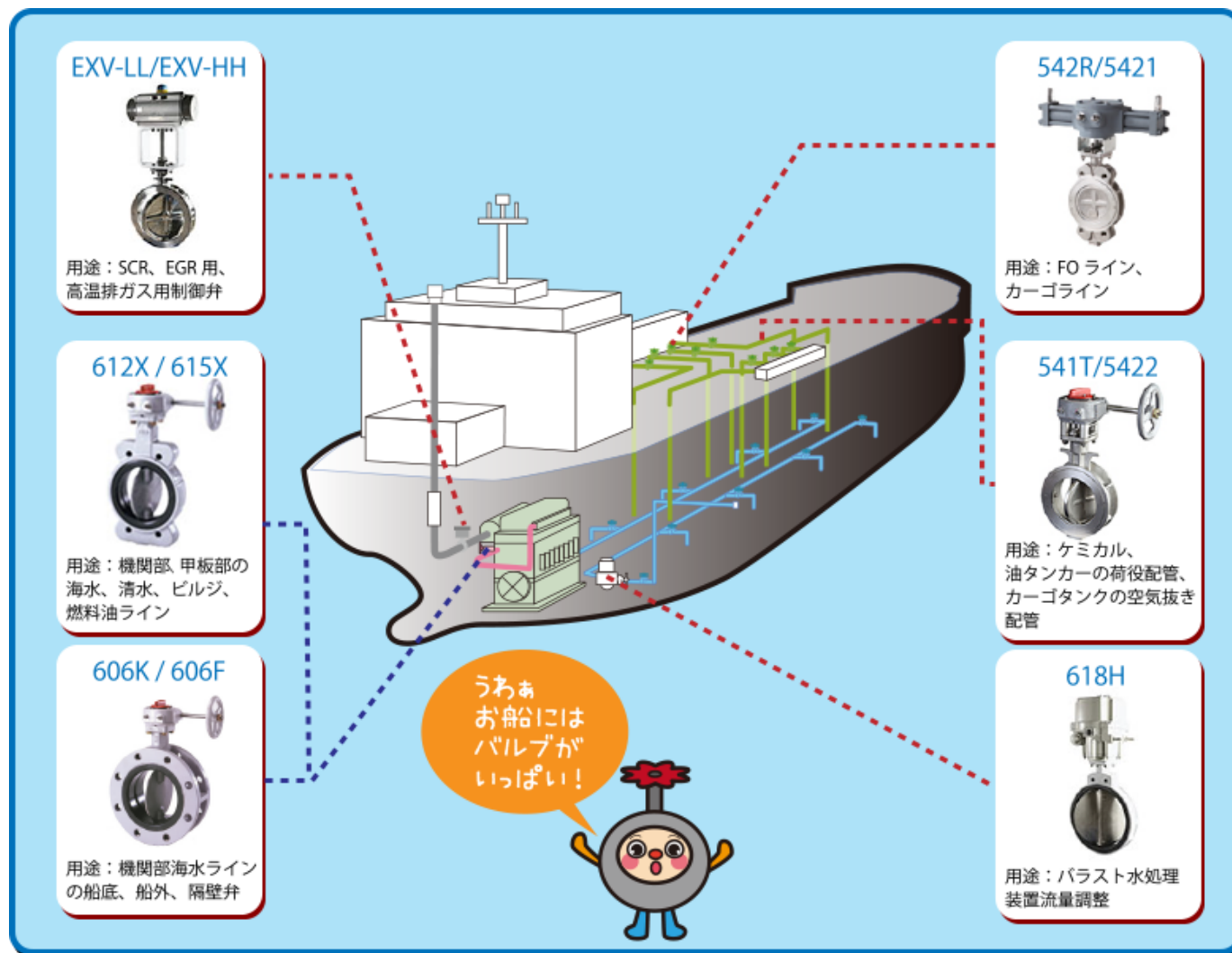


⇒空調用の冷温水を高層階へ送るライン



⇒スプリンクラーにつながる送水ライン

## ■船舶にも多くのバルブが使われる。



- ⇒船体の姿勢を制御するためのバラストシステム
- ⇒積荷の荷役ライン
- ⇒エンジン燃料冷却ライン
- その他

# 海運業界を取巻く主要な環境規制

## ■ 大気汚染防止のため、船舶排気ガス対策が急務

【近年の環境保護関連の主な規制】

人の健康や環境を保全するため、船舶からの排気ガス中の大気汚染物質（NOx、SOx等）濃度の低減が求められる。

	主な目的	規制対象	内容	対象海域	規制値の推移と今後の計画								
					'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	
1	大気汚染防止	NOx (窒素酸化物)	NOxの排出量制限	北米・カリブ海	20%減	規制強化						80%減	
				北海・バルト海					20%減		規制強化	80%減	
		SOx (硫黄酸化物)	燃料中の硫黄分濃度を制限	一般海域					3.5%以下		規制強化	0.5%以下	
2	海洋環境保全	バラスト水*1	バラスト水処理装置の搭載義務化	バラスト水管理条約締結国(80カ国*2)			新造船	2017.9~					
							現存船	原則2019.9以降の検査日					

NOx第3次規制：2016年1月より北米・カリブ海にて排出量80%減、2021年1月より北海・バルト海に適用地域が拡大。

SOx規制：2020年1月より全海域で適用開始。対応が喫緊の課題に。

\*1 大型船舶が航行時のバランスを取るために船内に貯留する海水。他海域での放水により生態系を崩す恐れがある

\*2 2019年2月21日時点

※国土交通省「海事分野におけるSOx規制の概要及び国土交通省の対応について」より作成

# 船舶排ガス用バルブの強み①

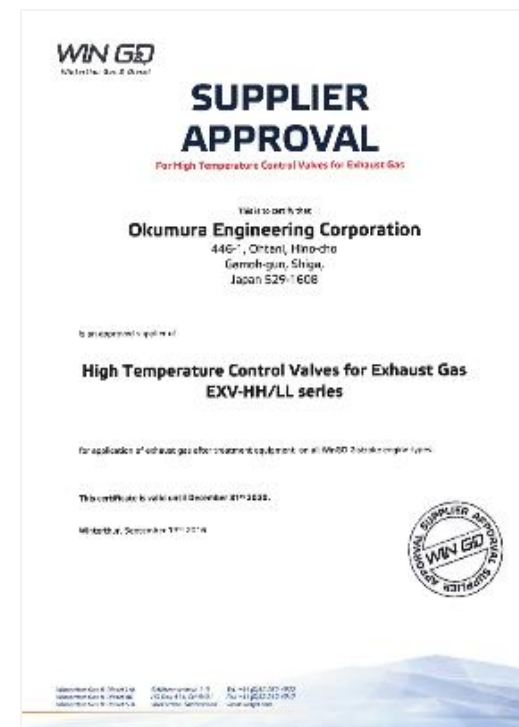
- 環境規制前の2013年頃より、世界No.1の主要船舶エンジンライセンスであるMANならびに、ライセンスの国内大手造船メーカーと共同で船舶の排気ガス制御に最適なバルブを開発
- 2016年に**世界で初めて**MANから認証を取得、船舶排ガス用バルブの**世界シェアNo.1**！\*
- 現在、認証を取得するためには、**高温実証設備の保有**や**500時間以上もの実船搭載試験**への合格が必須条件
- 現在参入している企業は6社\*

\* 2022年12月現在、当社調べ

## MAN 認証



## WIN GD 認証



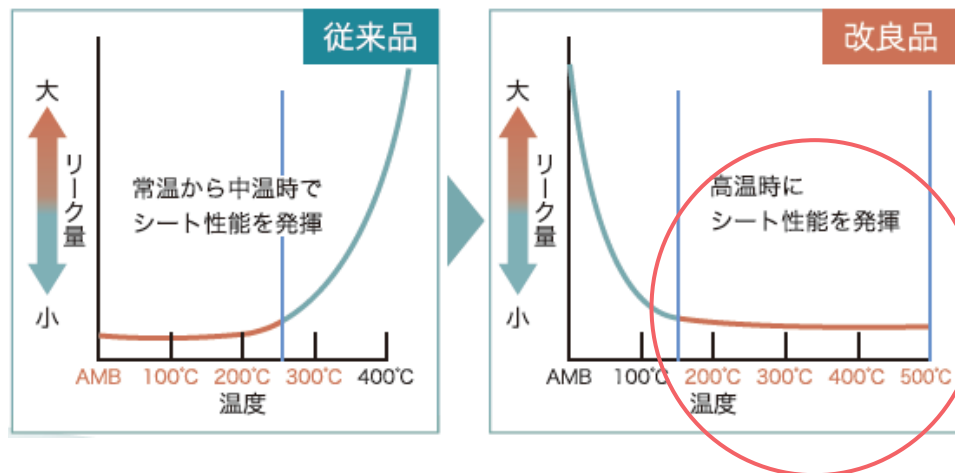
⇒ 船舶用2ストロークの主機（推進用）エンジンの世界シェア8割以上のライセンスー

## ■ 競合他社をリードする製品性能

### 【製品の4つの特徴】

- ① 独自構造による省スペース化
- ② 高シール性能
- ③ 高耐熱
- ④ 低圧力損失

⇒ **高温時、他社が追従できない低リーク量を実現**



**他社が追従できない  
低リーク量**

船舶排ガス用バルブ



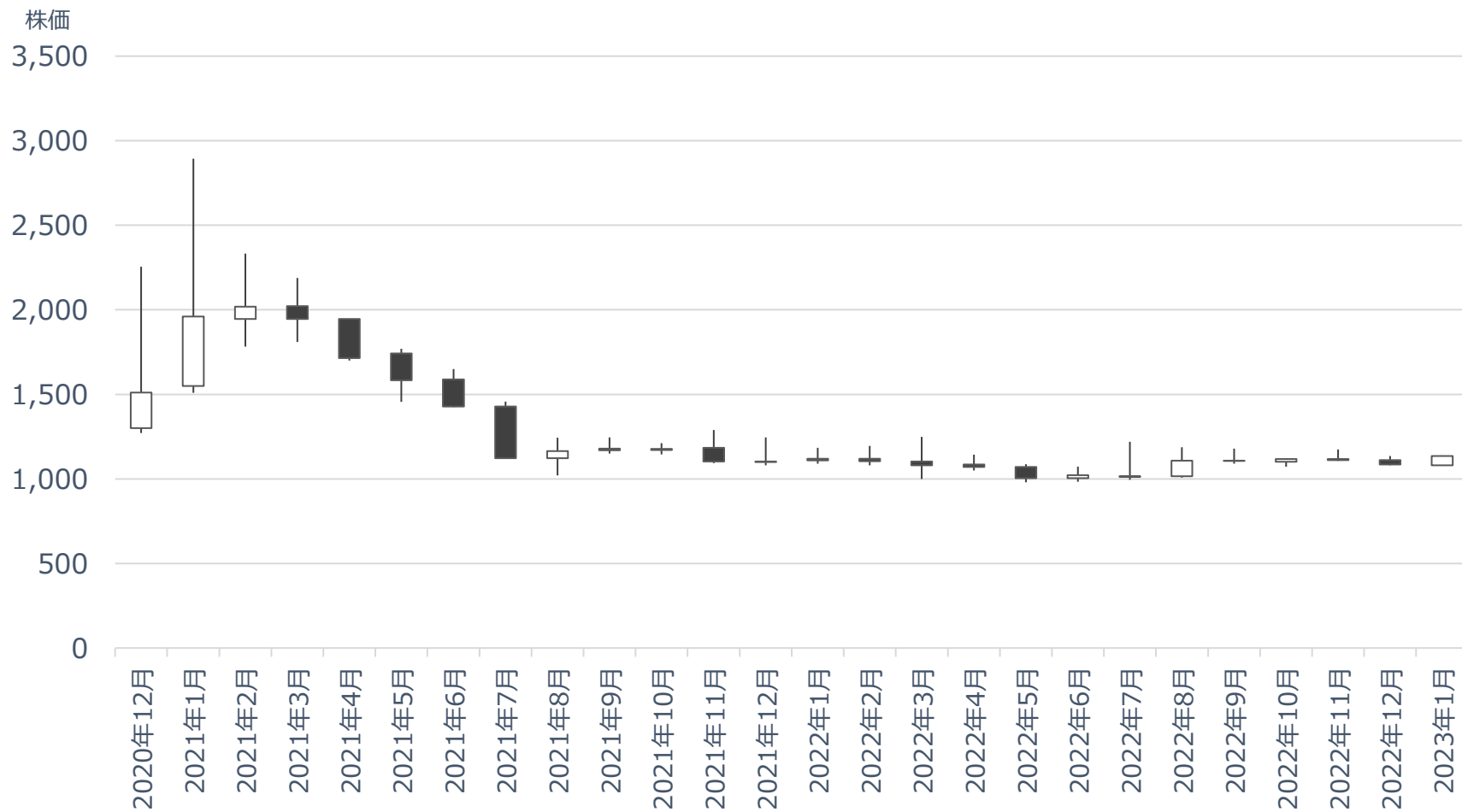
	リスク概要	発生頻度	影響度	リスク対策
カントリーリスク	①製品部品等調達リスク 主要な海外生産拠点であるマレーシアおよび中国において、材料等の供給ストップや遅延のリスク	中	大	製品部品等の調達に関して、日本において代替的に行うこと、また、各生産拠点の保有在庫を活用すること等の対策を講じております。
	②販売リスク 連結売上高の約30%を占める海外において、販売等に影響を及ぼすリスク	中	大	販売代理店との連絡を密にして現地情報の収集を図り適宜適切に対応出来るよう努めております。
自然災害リスク	大地震等の大規模な自然災害が発生した場合に、事業活動の停止や復旧遅延により業績に影響を及ぼすリスク	低	大	定期的に防災訓練を行い社員意識の向上を目指すとともに、BCP規程を整備し事業の早期復旧ができる体制づくりに努めております。
需要先に関するリスク	主要需要先である建設業界、船舶業界等の動向および経済情勢の変動により業績へ影響を及ぼすリスク	中	大	販売先の分散化や新規需要分野、新規取引先の開拓に注力しております。
原材料高騰リスク	バルブ生産に必要なステンレス等の各種金属材料等の価格高騰リスク	高	大	新規サプライヤーの開拓による安定供給元の確保、設計見直しによる原材料使用量の低減に努めております。
価格競争リスク	当社グループが参入している未開拓市場（ブルーオーシャン）においても、競合他社増加により価格競争に陥るリスク	中	大	更なる付加価値を持つ製品開発、既存商品の設計見直しや部材の見直し、生産性向上等により価格競争力の向上に努めております。

※ 上記以外のリスクについては、有価証券報告書における「事業等のリスク」をご参照ください。

# 6229.T 株式会社オーケーエム 株価推移

■直近株価：1,150円（2023/2/10 終値）

■年初来高値：1,249円（2022/3/25）、年初来安値：980円（2022/5/23）



## ■ 将来予測に関する注意事項

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

## ■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社オーケーエム

管理統括本部 経営企画部 経営企画課

メールアドレス : [prir@okm-net.co.jp](mailto:prir@okm-net.co.jp)

